

2017年11月10日

プレスリリース

「猪熊弦一郎展 戦時下の画業」スペシャルギャラリートーク

丸亀市猪熊弦一郎現代美術館

◎概要

開催中の企画展「猪熊弦一郎展 戦時下の画業」の関連プログラムとして、猪熊弦一郎の作戦記録画《〇〇方面鉄道建設》にちなみ、泰緬鉄道を長期に渡り取材しドキュメンタリー映像を制作して来た満田康弘氏を講師に迎え、スペシャルギャラリートークを開催いたします。泰緬鉄道の戦後処理に半生を捧げた倉敷市の元陸軍通訳・故永瀬隆氏を軸に、泰緬鉄道について猪熊の絵の前でお話しいたします。現地を撮影した映像もあわせてご紹介いたします。

講師：満田康弘（K S B瀬戸内海放送 報道クリエイティブユニットタスクマネジャー）

日時：2017年11月19日（日） 14:00-

会場：当美術館3階展示室C

料金：無料（要観覧チケット）*事前申込不要

◎講師プロフィール

満田康弘（みつだやすひろ）

香川県多度津町出身。K S B瀬戸内海放送、報道クリエイティブユニットタスクマネジャー。主に報道・制作部門でニュース取材や番組制作に携わる。倉敷市の元陸軍通訳・故永瀬隆氏（1918-2011）を1991年から約20年にわたって取材し、8本のドキュメンタリー番組を制作。2016年、その集大成として劇場用ドキュメンタリー映画「クワイ河に虹をかけた男」（119分）を制作、公開。同タイトルの書籍（梨の木舎）も2011年に出版。永瀬氏の死後「クワイ河平和基金」の理事を務め、毎年タイを訪問している。



◎関連企画展のお知らせ

猪熊弦一郎展 戦時下の画業

第二次世界大戦下の猪熊弦一郎（1902-93）の画業に焦点をあてた展覧会です。猪熊が描いた作戦記録画《〇〇方面鉄道建設》（1944、東京国立近代美術館所蔵）を戦後初公開するほか、戦地で描いたスケッチや、写真、公文書などの資料を展示しています。加えて藤田嗣治など親交があった他作家の作戦記録画も紹介しています。

会期：2017年11月30日(木)まで 会期中無休

時間：10:00-18:00（入館は17:30まで）

会場：丸亀市猪熊弦一郎現代美術館 展示室 A, C

◎他の関連プログラムのお知らせ

「猪熊弦一郎展 戦時下の画業」講演会

講師に美術批評家の榎木野衣氏をお迎えし、講演会を開催いたします。第二次世界大戦下の日本の美術について、猪熊を含む主だった従軍画家や、彼らが描いた作戦記録画のを中心にお話いただきます。

講師：榎木野衣（美術批評家）

日時：2017年11月12日(日) 15:00-

会場：当美術館3階展示室C

料金：無料（要観覧チケット）*事前申込不要

[お問い合わせ先]

丸亀市猪熊弦一郎現代美術館

公益財団法人ミモカ美術振興財団

展覧会担当 古野華奈子

〒763-0022 香川県丸亀市浜町80-1

Tel. 0877-24-7755 Fax. 0877-24-7766

E-mail. press@mimoca.org